



写真2-1 ミーティング：出艇前のミーティング。ご覧のように艇を置くラックは、全てこのように木陰となっており、午前～午後のトレーニングの間の時間も、この空間で過ごすことに何のストレスも感じません。

7/31(木)

昨日と同じく6時に起床し、7時に朝食を摂り9時に会場に向けバスで移動しました。

すぐに、艇の確認を行い、水上トレーニングを始めました。内容はトータルワーク16km：UT4000mを2set、Start付の250mを8set。スタートからのスピードを意識したトレーニングです。少しずつ会場の雰囲気にも慣れてきた様子です。

午後のモーションは14時に移動。トータルワーク16kmのトレーニング。少しずつ参加チームも増え、大会らしい雰囲気になってきました。USAチームも現れ、俄然にぎやかになってきました。USAのエイトは、ゆっくりとテクニクを確認している様子で、あまり上手とは言えませんがスピードは出そうな雰囲気を漂わせていました。

日本チームは時差や環境変化の疲れが抜けもう一つ上のスピードを目指してトレーニングしています。明日からは更に質を上げた調整トレーニング入ります。

6月に選手が選考され、その後の短期・中期の国内合宿を3回行ってきていますが、決して長い時間をかけてクルーでのトレーニングをしてきたわけではありません。得てして、個

人の癖の矯正等に時間を費やすことも有ったのですが、ここにきてユニフォーミティーも更に向上し始め、クルー単位の明確な課題・方向性を選手自身が意識できていると思います。

この日の夕食は、いつものbuffeスタイルの食事に加え、屋外テラスでのバーベキューもあり、ドイツならではのソーセージ類をたっぷりいただきました。(写真が無くて、すみません)

ここハンブルグは、北緯53度に位置する都市です。日本最北端の稚内が北緯45度ですから、如何に北に位置しているかがお分かりかと思います。したがって夏のこの時期の夜は21時頃まで明るく、暗くなるのは21時以降です。少しまだ明るさの残る中での就寝となります。



写真 2-2 観覧席裏：昨日まで鉄骨が剥き出しだった観覧席の裏側も、世界各国のブレードカラーが書かれた横断幕で覆われました。大会が近づきつつあります。

8/1(金)

午前、会場に到着すると大会に向けて様々な準備ができていくことに気がきます。昨日まで鉄骨が剥き出しだった観覧席の裏側も、世界各国のブレードカラーが書かれた横断幕で覆われていました。今日からは、よりスピードを求めるトレーニング。トータルの距離を少し抑え目にしながらですが、レースペースを上げるためのトレーニングを行いました。

JM4xはオールの長さを調整しました。各クルーともいつもよりいい感じが出せている様子です。

実はこの日、部屋の移動があるため、朝食終了後に一度全員、部屋を引き換えました。というのも、初日に通された部屋は、選手だけでなく海外経験もあるスタッフも驚くばかりの狭い部屋で「これで2週間過ごすって??」と思わざるを得ない状況でした。

日ボ事務局と連携を取りながら、現地OC代理店・ホテルと交渉し、ようやく本日8/1(金)から、「普通」と言ってもいい部屋に変更ができました。不思議なもので、昨日までと変わらない、幅の狭いベッドでも部屋が広くなるとベッドの幅も広くなったように感じてしまいます。「普通」の部屋でも、一気に快適となりました。

昼食後に移動が終わり、スペースに余裕のある部屋に入れたためか、午後のトレーニングでは選手の集中力も増したような気がします。

会場の雰囲気も時間の経過とともに試合会場ら



写真 2-3 JW4x蹴り出し: (S小原(筑波大)、3棚橋(加茂)、2高島(米子東)、B瀧本(館林女子))



写真 2-4 JW4x : (S小原 (筑波大)、3棚橋 (加茂)、
2高島 (米子東)、B瀧本 (館林女子))



写真 2-5 JW2x : 蹴り出し (S成瀬 (恵那)、B常盤 (小
浜水産))

しくなり選手達のやる気も当然上がります。今日のコンディションは朝から逆風が続いていますが、波はさほど立っておらず漕ぎやすいようです。練習を終え今日はいい感じが出せたという選手の声が多く、少しずつ満足のいくスピードに近づいているようです。

練習が終わり、男子のクオドはフィンを女子のクオドは足回りをフィリップ社に修繕依頼し、会場を後にしました。体調不良を訴える選手もいなく、食事の様子を見ても、皆元気です。



写真 2-6 JW2x : (S成瀬 (恵那)、B常盤 (小浜水
産))



写真 2-7 JM4x 蹴り出し直後 : (S古田 (米子工業)、3武
田 (美方)、2高田 (敦賀工業)、B中原 (日田))



写真 2-8 JM4x: (S古田(米子工業)、3武田 (美方)、2高田 (敦賀工業)、B中原 (日田))



写真 2-9 JM2x 蹴り出し直後: (S野村 (潮来)、大久保 (明治大))



写真 2-10 JM2x (S野村 (潮来)、大久保 (明治大))



写真 2-11 フィンの交換 : JM4 x のフィンを交換しました。Filippiスタッフによる、JM4 x のフィンの交換です。



写真 2-12 ヴェスポリ艇：この写真は、ご覧になってお分かりいただけるでしょうか？ USAチームが使う艇の一つ、ヴェスポリ艇です。「艇のハル」の部分で、丁度水と接する部分と接しない部分に【境目】があるのがお分かりでしょうか？水と接する部分は、少し違った触感があります。